

「ちゅーピーの森づくり」プロジェクトの展開

中国新聞中国会連合会

植樹や間伐材を利用した物づくり 環境保全プロジェクト

●実施期間

2008年4月～

●実施地域

広島市を中心とした広島県西部地域

●活動概要

中国新聞中国会連合会は、2008年4月から、地球温暖化防止に役立つ森林保全と管理に貢献するため、地元の山への植樹や間伐材を材料としたベンチづくりや木工細工の展示、炭の販売などを行うプロジェクトを展開している。

活動は、広島市北部の神ノ倉^{かんのくら}山で遊歩道整備と桜の苗木100本の植樹、間伐材を活用したベンチ120脚を製作して地域に寄贈したり、伐採した竹を利用して東日本大震災の被災者への義援金の募金箱を作り、寄付を募るなどさまざまな方法で展開し、地域の環境保全に貢献している。

*

中国新聞中国会連合会＝中国新聞系統の338販売所で組織。このうち広島県西部6つの系統会の125販売所が活動主体。竹浪克彦（たけなみ・かつひこ）会長。

■植樹の様子（2008年）



■木工教室の様子（2008年）



■間伐材で製作し贈呈したベンチ（2010年）



■森の竹を利用した募金箱（2011年）



地域の歴史的名勝の保全・整備、PR

愛媛新聞エリアサービス桑原^{くわばら} 所長 西口 功

地元で親しまれ、懇願されていた
遊歩道の再生に
自ら木材を提供し、尽力した取り組み

●実施期間

2005年～

● 実施地域

愛媛県松山市郊外の淡路ヶ峠
およびミニコミ紙を通じてエリ
ア周辺

●活動概要

愛媛県松山市の愛媛新聞エリ
アサービス桑原所長の西口功さ
んは、2005 年からボランティア
で、松山市郊外の淡路ヶ峠の遊
歩道整備に取り組んでいる。

06 年には、地域の有志 12 人とともに「淡路ヶ峠遊歩道整備管理協議会」を結成し、毎月 1 回定期的に歩道整備の作業をしている。西口所長は、整備に必要な木材として約 100 本のヒノキを無償で提供し、自らショベルカーを操作し遊歩道完成に尽力した結果、3 ルートの遊歩道が完成している。

また、同店で発行しているミニコミ紙「愛媛新聞ぽけっと版」で随時、整備状況を告知し地域住民や読者へPRしている。

西口 功 (にしぐち・いさお)

■遊歩道を整備する様子



シヨベルカーを運転する西口所長

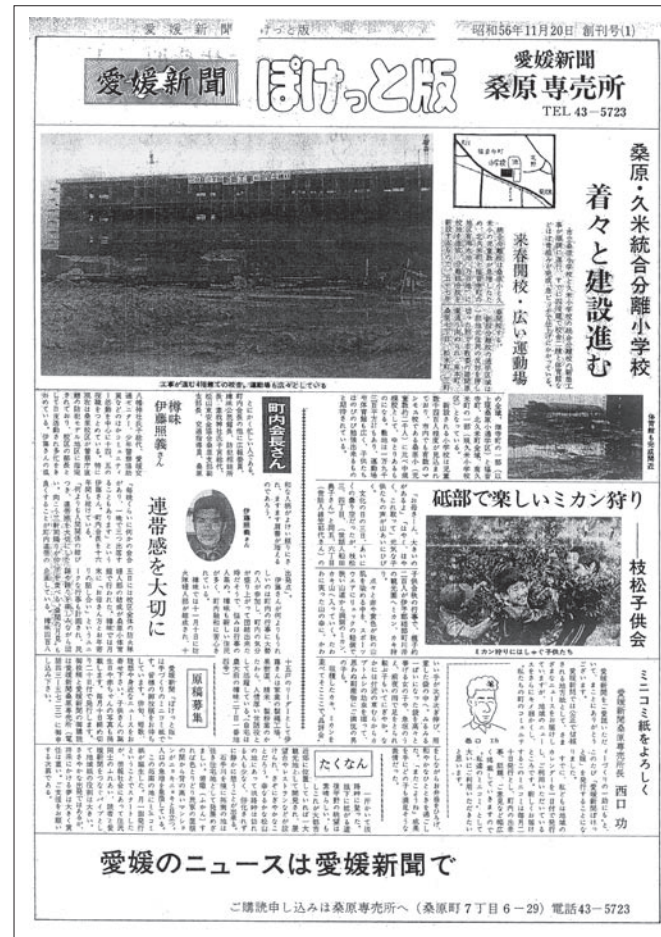


遊歩道整備に使用する
木材をそろえるメンバー



木材を利用し遊歩道を
整備するメンバー

■ミニコミ紙「愛媛新聞ぽけっと版」



1981年11月20日付(創刊号)



2011年12月31日付(第354号)



自慢の里山 触れて

[illegible]

愛媛新聞
2012年6月10日付

県内全域でくまなく「高齢者見守り活動！」安心して暮らせる地域づくりへ 徳島県および市町村と連携活動

徳島新聞販売店会

行政と協力した 安全で安心して暮らせる まちづくりを目指して

●実施期間

2009年～

●実施地域

徳島県内全域

●活動概要

徳島新聞販売店会では、2009年から自治体と連携した「高齢者見守り活動！」を県内全域で取り組んでいる。

お年寄りが安心して暮らせる地域づくりを目指し、朝・夕刊の新聞配達時に一人暮らしの高齢者宅で異変・異常に気付いたら地元民生員や警察、消防等に連絡する活動を続けている。

徳島県では65歳以上が27%と全国平均より高く、独居老人が20年前の2倍以上となり、3万人を超えている。この深刻な状況を受けて、同会は09年阿南市と市内の店が協定を結んだことを皮切りに、現在では42店が7市町と締結している。過去3年間の通報件数は167件、このうち過去1年間の通報件数は89件と地域の福祉向上に寄与している。

*

徳島新聞販売店会＝徳島県の徳島新聞系統110販売店で組織。青木伸（さいき・しん）代表。

■徳島新聞販売店「見守り活動」に関する資料写真



2009年10月9日／阿南市役所
徳島県南部の阿南市の販売店13店が同市の協力依頼を受け、「高齢者見守り協定」を締結。以来、本紙販売店への協力依頼が各自治体から相次ぎ、現在、42の販売店が7市町と締結。高齢者の安否確認を目的に新聞販売店と自治体が協定したのは、徳島県内では初めてだった。約半数の42店が地元役場と協定。3年間の通報件数は全県で約170件



「地域安全 見守り隊」の幟も作って、高齢者の見守り活動に力を入れている徳島新聞販売店吉野川支部（8店）の所長たち

■徳島県における高齢者等の見守り活動に関する協定書



2012年1月24日／徳島県庁
111店で作る徳島新聞販売店協同組合が徳島県の協力依頼を受け「高齢者見守り協定」締結。以来、県と連携し県内全域での見守り活動がさらに推進。市町村に加え、徳島県からも協力依頼を受け活動協定を締結！県内を網羅した見守り活動がさらに推進し、この1年間の通報件数は約90件に上る！人命救助も多い。



新聞配達業務を通してお年寄りの安否確認をする配達スタッフ。夕刊配達時はできる限り「直接手渡し」を心掛けている。

県内一人暮らしの高齢者 初の3万人超え

20年前の2倍以上に

徳島県内一人暮らしの高齢者（65歳以上）が、20年前の2倍以上に増加した。県内一人暮らしの高齢者は、20年前の約1万5千人から、現在は約3万人を超えている。この増加は、高齢化の進展と家族の減少によるものと考えられている。

2010年国勢調査の確定値によると、県内一人暮らしの高齢者は、20年前の約1万5千人から、現在は約3万人を超えている。この増加は、高齢化の進展と家族の減少によるものと考えられている。

徳島新聞 2011年11月20日付

骨折の独居高齢者救う

高齢者保護 1年で10件

家族や関係機関に連絡

徳島新聞販売店専売所員が、骨折した高齢者を発見し、家族や関係機関に連絡して救助した事例が1年間で10件あった。この活動は、高齢者の安全を守るための重要な取り組みとなっている。

高齢化が進む徳島県西部（25店）の2011年の活動を支局の記者がまとめた記事。徳島新聞 2012年5月3日付

人命救助で感謝状

本紙販売店所長ら3人に

徳島新聞販売店所長ら3人に、人命救助で感謝状が贈られた。この活動は、高齢者の安全を守るための重要な取り組みとなっている。

人命救助で感謝状

専売所に北署

徳島新聞販売店専売所に、人命救助で感謝状が贈られた。この活動は、高齢者の安全を守るための重要な取り組みとなっている。

高齢者に「大丈夫ですか」

見守り業務開始

徳島新聞販売店と阿南市役所が、高齢者の見守り業務を開始した。この活動は、高齢者の安全を守るための重要な取り組みとなっている。

この協定締結以来、自治体からの協力依頼が相次ぎ、現在42店が7市町と見守り協定を締結。今年（2012年）1月には全店（111店）が徳島県と締結した。徳島新聞 2009年10月10日付

高齢者に「お元氣ですか」

見守り業務始める

徳島新聞販売店と阿南市役所が、高齢者の見守り業務を開始した。この活動は、高齢者の安全を守るための重要な取り組みとなっている。

徳島新聞 2010年1月23日付

■販売店へのアンケート

徳島新聞販売店「見守り活動」に関するアンケートの結果。この活動は、高齢者の安全を守るための重要な取り組みとなっている。

■徳島新聞販売店「見守り活動」状況

※通報件数は販売店所長の記憶に基づくものもあり概数。販売店を長年経営しているベテラン所長もいるが「忘れてしまった」という販売店は件数を空欄にした。

店名	過去3年間の発見・通報件数	過去1年間の発見・通報件数	現所長の開店年数	開店後の通報件数	表彰歴
昭和町	4	2	25年		
昭和南	4	1	36年	4	
津田東	1	0	27年	3	
津田南	1	0	15年	3	
沖兵	2	2	20年	2	
八万	0	0	1年	0	
八万西	2	1	20年	8	
八万南	0	0	4年	0	
八万北	3	1	14年	5	
勝占	0	0	18年	1	
多家良	0	0	1年	0	
沖洲	1	0	3年	1	
福島	2	2	25年	4	
末広	3	3	2年	3	
住吉城東	0	0	0.2年	1	
常三島	2	2	10年	2	
徳島	2	2	4年	0	
雷田	0	0	22年	6	
山手	3	1	8年	2	
助任	2	1	2年	2	
北吉野	2	2	6年	2	
前川	0	0	2年	0	
佐古南	1	1	2年	1	
北佐古	3	1	10年	3	
田宮	1	1	0.3カ月	1	
矢三	1	1	0.3カ月	1	
蔵本	0	0	27年	1	
加茂名北	0	0	30年	5	
南庄町	0	0	31年	7	
名東町	0	0	21年	2	
国府	3	0	3年	3	
国府南	3	1	25年	7	
広野	0	0	26年	3	
電王	0	0	12年	1	
石井西	0	0	19年	0	
石井東	44	23	85		
小計	4	2	12年	10	
北小松島	3	3	4年	3	
南小松島	4	2	16年	6	有り
立江	0	0	30年	3	
赤石	6	2	36年	25	
勝浦	1	0	6年	2	
今津	5	2	21年		
羽ノ浦南	0	0	2.5年	0	
中島	1	0	42年	5	
富岡	1	1	5年	3	
阿南東	1	1	37年	8	
橋	0	0	23年	2	
津乃峰	1	1	23年	3	
大野	0	0	19年	0	
釜田	1	0	3年	1	
桑野	1	0	17年	1	
新井	0	0	17年	0	
新井	0	0	14年	6	
丹生谷	1	0	12年	1	
由岐	0	0	12年		
日和佐	2	1	30年	10	
牟岐	5	4	2年	5	
海南	0	0	11年		
海部宗喉	0	0	27年	2	
小計	37	20	96		
川内	0	0	0.6年	0	
川内東	0	0	23年	0	
応神	2	2	6年	4	
北島	4	3	8年	5	
北島南	0	0	11年	7	
北島西	0	0	8年	0	
松茂	0	0	23年	5	
南浜	3	2	7年	4	
桑島	3	1	5年	5	
鳴門北	5	0	6年	5	
立岩	0	0	1年	0	
瀬戸	3	3	4年	3	
大津	3	1	22年	10	
堀江	5	2	4年	5	有り
板東	3	1	70年	10	
藍園	1	1	18年	4	有り
勝浦	0	0	2年	0	
藍住北	2	1	33年	10	
板野南	1	0	21年	2	有り
板野南	1	9	8年	1	
高志	2	1	20年	5	
大山	6	4	31年	15	有り
松島	1	1	1年	1	
小計	45	32	103		
一条岡所	6	2	24年	12	
土成	0	0	4年	0	
市場	0	2	15年	5	
阿波西	0	0	9年	1	
阿波西	3	1	28年	12	
牛島	1	0	14年	3	
鴨島中央	1	0	1年	0	
鴨島南	0	0	3年	0	
鴨島西	2	0	32年	5	
川島	2	1	28年	5	
学	1	0	12年	1	
山川	3	2	3年	3	
山川西	2	1	22年	2	
穴吹	0	0	18年	2	有り
江原	1	1	35年	15	
脇町	1	0	8年	3	
脇町西	0	0	1年	0	
貞光	4	1	34年	20	
半田重清	1	1	17年	1	
三好	0	0	24年	1	有り
三好	1	0	0	0	
井川	1	0	33年	4	
徳島	2	0	13年	4	
池田	3	1	22年	4	有り
山城	2	1	32年	15	有り
小計	41	14	118		
全店(県内)合計	167	89	402	9	

「宇宙カボチャを育てよう」 ～パンプキンミッションinさが～

佐賀新聞販売店会佐賀会

宇宙カボチャの生育を通して 宇宙や科学を知り 子どもたちの夢を広げてもらう取り組み

●実施期間

2011年5月～11月

●実施地域

佐賀県内全域

●活動概要

佐賀新聞販売店会佐賀会では、2011年5月から11月の間、佐賀県内にある全小学校の4年生を対象に「宇宙カボチャ」の種を配布し、生育を通して宇宙や科学を知り、夢を広げてほしいとの願いを込めた取り組みを実施した。

「宇宙カボチャ」は宇宙飛行士の若田光一さんが、宇宙滞在中、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」で保管していたペポ・カボチャの種子345粒を持ち帰り、全国の17大学や農業研究所などに配布され、育成された。

佐賀会はこの2世種子を小学校に贈ったところ、学校関係者、児童および読者から多数の感謝の声が寄せられている。

*

佐賀新聞販売店会佐賀会＝佐賀県の佐賀新聞系統87販売店で組織。廣瀬博（ひろせ・ひろし）会長

◎すべての小学校に宇宙カボチャの種を贈呈



佐賀新聞2011年5月26日付の特集紙面。宇宙カボチャの由来などを1ページで紹介しました。



佐賀新聞2011年5月28日付朝刊

贈呈は、佐賀新聞販売店の店主が配達エリア内にある小学校と連絡をとり行いました。

5月27日、佐賀市の高木瀬小学校から贈呈は始まりました。贈呈品目はクラス単位に分けた『2世種子』、宇宙やカボチャのことを調べたり新聞記事を貼り付けできる『栽培観察ノート』、教師用の『栽培マニュアル』、宇宙カボチャの成り立ちを詳しく紹介した『DVD』、『パンプキンミッション参加証明書（額付）』、『フラワラベル』、『肥料』となっています。また、佐賀新聞本紙1面コラムでも、この事業が取り上げられました。

贈呈は、佐賀新聞販売店の店主が配達エリア内にある小学校と連絡をとり行いました。その様子は佐賀新聞紙上で紹介し、贈呈を行った177校すべてに掲載し、掲載後は贈呈記念のパウチを作成して、各小学校と掲載された児童に届けました。

7月14日、鹿島市の七浦小学校が最後の小学校。県内177校への贈呈は終了いたしました。



宇宙カボチャ2世種子

栽培観察ノート

◎贈呈した観察ノートでコンテストを実施



子どもたちの宇宙や自然、故郷・佐賀県や栽培についてより興味を持ってもらうために『観察ノートコンテスト』を実施しました。

カボチャの成長ぶりを書き込んだ観察ノートのコンテストを開きました。すぐれた作品には天体望遠鏡などを贈りました。観察ノートはカボチャの種とともに、県内全小学校の4～6年生に贈られ、宇宙や農業や佐賀県のことも学べるようになっています。

カボチャの種については「種まき」「発芽」「植え替え」「受粉」「収穫」と、育てるポイントごとに観察し、気づいたことを書き込んだり、写真やスケッチを張ったりするようになっています。

佐賀新聞 2011年7月14日付

■観察ノートコンテスト応募作品より抜粋



■贈呈時の様子は紙面で全校紹介

6月12日から7月18日にかけて12回掲載（掲載サイズは全5段）。掲載した写真はパウチサービスを実施し、各販売店から177校の小学校へ届けました。贈呈されたことや友達が紙面に掲載されて、児童や学校関係者に新聞に関する興味を起こさせました。



■観察ノートコンテストの表彰式と感想

最優秀賞には江口伊吹君（鏡山小6年）、溝口綾音さん（大志小6年）、田渕奈穂さん（北川副小5年）が選ばれ10月26日、県立宇宙科学館で表彰式を開催しました。



こども佐賀新聞 2011年12月3日付

◎古川宇宙飛行士との交信イベントを実施



JAXA（宇宙航空研究開発機構）の協力のもと、「パンプキンミッションINさが」の特別企画として、県内で初めて開いたものです。

国際宇宙ステーション（ISS）に長期滞在中の宇宙飛行士古川聡さん（47）と佐賀県内の小学生が直接会話する「宇宙交信イベント」が10月26日、武雄市の県立宇宙科学館で開催しました。

佐賀新聞販売店会が県内全小学校に「宇宙カボチャ」の種を贈って育てる事業「パンプキンミッションinさが」の特別企画として開いたものです。当日は午後6時から宇宙航空研究開発機構（JAXA）と同館の担当者が講話した後、午後8時ごろから古川さんと約10分間交信しました。イベントの参加対象は小学生（保護者同伴）で、定員は170人。応募者多数のため抽選で参加者を決めました。

ミニコミ紙特集号「ハイ元気です」とちびっこサッカー＆グラウンドゴルフ大会

南日本新聞指宿地区南日会

ミニコミ紙を活用した
幅広い世代における
地域交流の促進に寄与

●実施期間

1995年～

●実施地域

いぶすき
鹿児島県指宿市と南九州市の一部

●活動概要

南日本新聞指宿地区南日会は、1995年から地区内5つの販売所が連携して、エリア内の乳幼児のほほ笑ましい写真を集めたミニコミ紙特集号「ハイ元気です」の発行をはじめ、「指宿ちびっこサッカー大会」や「指宿地区グラウンドゴルフ大会」など、幅広い世代を対象に地域交流に取り組んでいる。

年6回発行しているミニコミ誌「いぶすき路」を、99年から子どもの日がある5月号を「ハイ元気です」特集号と位置づけ、読者からの掲載申し込みに応じて写真を掲載している。

また、地域貢献活動として、ちびっこサッカー大会やグラウンドゴルフ大会を07年から毎年1回開催するなど地域交流の促進に寄与している。

*

南日本新聞指宿地区南日会＝鹿児島県指宿地区の南日本新聞系統5販売所で組織。若山修二郎（わかやま・しゅうじろう）会長

◎ミニコミ紙特集号「ハイ元気です」とその付加サービス

いぶすき路のホームページは、<http://www.minicomic.jp/~ibusuki/> 記事URL: <http://www.minicomic.jp/~ibusuki/>

平成24年(2012)5月号発行 (1)

地域情報満載のミニコミ紙

ハイ元気です 特集号

指宿

512人を掲載した今年の特集「ハイ元気です」(平成24年5月号)

2012 Calendar

南日本新聞 指宿地区販売店会

付加サービスの特製カレンダー

◎指宿ちびっこサッカー大会



必死にボールを追いかける子どもたち



地元大型スーパーで、写真展を実施

◎指宿地区グラウンドゴルフ大会



明るく楽しくプレーします！
＝選手宣誓はやはり緊張



一打入魂…でも笑顔は忘れません